

## 4. 基本理念、基本目標の設定

### 4-1. 水道事業の基本理念、基本目標

本市は、「第六次前橋市総合計画」において、将来都市像「生命都市 いきいき前橋」を基本理念として掲げています。その中で、「快適で暮らしやすいまちづくり」を分野別計画の一つとして掲げており、市民誰もが快適さや安全・安心な生活を実感し、生き生きと暮らせるまちづくりを目指しています。

これを受けて、本市の水道事業が将来にわたりずっと安全・安心であるという思いを込めて、「いきいき前橋 未来に向け安全・安心な水道」を基本理念（将来像）とし、実現に向けて努めていきます。

一方、本市水道創設期に建設された敷島浄水場をはじめとする水道施設が、今後次々と更新時期を迎えることや通常時及び災害時の安全・安定給水などの需要者ニーズが求められていること、さらに、その基礎となる運営基盤の強化や技術力の確保が必要とされています。また、財政見通しについては、人口の減少と高齢化の急激な進展、節水機器の普及による給水量の減少など、料金収入の減少が見込まれます。これらの課題に適切に対処していくためには、水道事業者が自らの事業を取り巻く環境を総合的に分析した上で、経営戦略を策定し、それらを計画的に実施していくことが必須となっています。

そのため、「いきいき前橋 未来に向け安全・安心な水道」という基本理念のもと、厚生労働省の「新水道ビジョン」が掲げる「安全」、「強靱」、「持続」の3つの観点と整合を図る形で基本目標を整理しました。

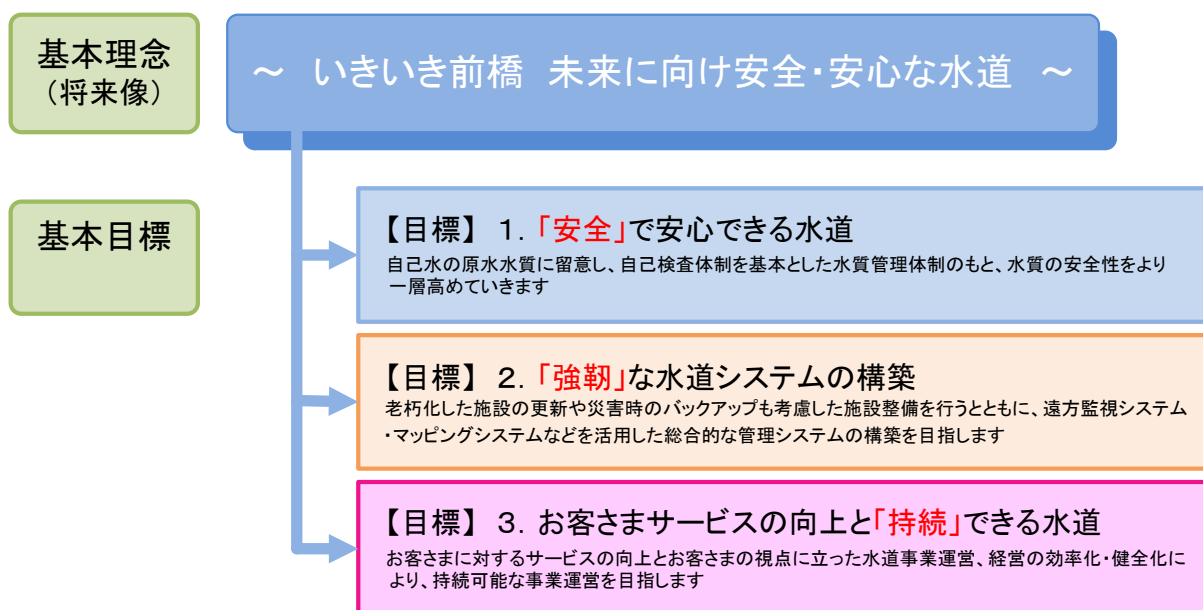


図 4-1 水道事業の基本理念、基本目標

## 4-2. 水道事業の施策体系

「2. 水道事業の現状分析と評価」で整理した前橋市地域ビジョン（H19.3）の施策の進捗状況や課題、及び新水道ビジョン推進に向けて厚生労働省が掲げた早期に取り組む主要な事項をもとに、基本理念、基本目標を実現していくため、本市として新たに取り組むべき施策を整理します。

[厚生労働省が新水道ビジョンの推進に向けて早期に取り組むべき事項]

- ◆ 水安全計画の活用による水質管理促進
- ◆ 水道水質に係わる新たな項目設定
- ◆ 重要給水施設配水管の優先的耐震化の推進
- ◆ 耐震性能の評価と耐震化計画策定指針の改訂
- ◆ アセットマネジメントの活用促進、導入状況の把握
- ◆ 発展的広域化の推進（都道府県の指導力に期待）
- ◆ 料金制度の最適化

前橋市地域ビジョン(H19.3)の施策及び厚生労働省が早期に取り組むべき事項を、「安全」、「強靱」、「持続」の3つの観点で改めて整理し、10の基本施策、さらに27の実施施策としました。（図4-2参照）

【基本理念】  
(将来像)

いきいき前橋

未来に向け安全・安心な水道

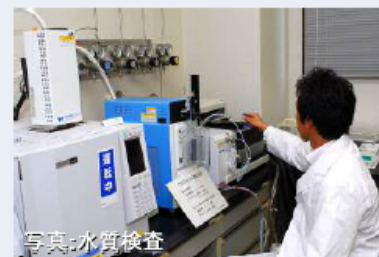
15ヶ年プラン(基本施策と実施施策)

【基本目標】 1. 「安全」で安心できる水道

～自己水の原水水質に留意し、自己検査体制を基本とした水質管理体制のもと、水質の安全性をより一層高めていきます～

【1-1. 安全な水の供給】

- (1) 適切な浄水処理方法の導入
- (2) 水質管理体制の強化
- (3) 地下水水源の保全
- (4) 水安全計画の実施



【基本目標】 2. 「強靱」な水道システムの構築

～老朽化した施設の更新や災害時のバックアップも考慮した施設整備を行うとともに、遠方監視システム・マッピングシステムなどを活用した総合的な管理システムの構築を目指します～

【2-1. 安定給水のための施設整備】

- (1) 敷島浄水場をはじめとする基幹施設の更新・改良
- (2) 施設の再編成及び統廃合
- (3) 基幹管路の耐震化

【2-2. 管理システムの構築】

- (1) 遠方監視制御設備、計装設備の整備・更新

【2-3. 災害対策の推進】

- (1) 基幹施設のバックアップ機能強化
- (2) 応急給水実施の確保
- (3) 他団体等関係機関との連携強化



【基本目標】 3. お客さまサービスの向上と「持続」できる水道

～お客さまに対するサービスの向上とお客さまの視点に立った水道事業運営、経営の効率化・健全化により、持続可能な事業運営を目指します～

【3-1. お客さまサービスの向上】

- (1) 直結給水の拡大
- (2) 貯水槽水道の指導強化
- (3) 鉛製給水管の解消
- (4) 電話や窓口対応等のサービスの向上

【3-2. お客さまニーズの把握・施策への反映】

- (1) お客さまと一体となった水道事業運営の推進

【3-3. 経営の効率化】

- (1) 組織の合理化・人員配置の適正
- (2) 民間委託の推進
- (3) 経営改善を図る行財政改革推進計画
- (4) 「水道事業ガイドライン」の活用

【3-4. 組織体制・技術の継承】

- (1) 技術の継承
- (2) ICT化の推進

【3-5. 財政面の安定化】

- (1) 料金収入の確保  
(収納環境の整備、料金未納対策など)
- (2) 計画的な投資  
(アセットマネジメントの実践)

【3-6. 環境への配慮】

- (1) 有効率、有収率の向上
- (2) 省エネルギー対策、環境に配慮した事業の推進
- (3) 環境会計の導入の検討



図 4-2 水道事業の施策体系(基本施策、実施施策)